






令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
1	横山魁哉さんが箱根駅伝第1区で区間5位の好成績【1月】	創価大学4年の横山魁哉さん（白岩下）が、今年1月に開催された「第99回東京箱根間往復大学駅伝競走」で往路1区の走者となり、21.3kmを1時間3分2秒、区間5位でたすきをつなぐ力走をみせました。2月7日には長谷川寛彦市長を表敬訪問し、実業団で競技を続けていくことなどを報告すると、市長からは労いと激励の言葉が贈られました。	
2	「令和5年菊川市はたちの集い」成人式から名称変更し初めての開催【1月】	1月8日、菊川文化会館アエルで、従来の成人式を改めた「令和5年菊川市はたちの集い」が開催されました。対象者478人のうちおよそ360人が出席。力強く大人への第一歩を踏み出しました。式典では、「はたちの決意」と題し、3人のはたち代表が登壇。それぞれの感謝の想いや、未来に向けた決意を述べました。たくさんの祝福や励ましを受けたはたちの若者たち。新たな門出を喜ぶとともに、新しい時代への希望を胸に、飛躍を誓いました。	
3	稲垣愛子さんが「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール全国大会で入賞【1月】	菊川東中2年生の稲垣愛子さんが、1月28日に開催された第22回全国中学生創造ものづくり教育フェア「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクールの全国大会に出場。「思い出の服がミラクル大変身!!」というテーマのバッグを応募したところ、女子栄養大学学長賞を受賞し、入賞者9人のうちの1人に選ばれました。	
4	小笠高校生が考えた市内農産物を使った新メニューが商品化、学校給食でも提供【2月】	小笠高校生が試作を繰り返して考案した新商品レシピをプロが商品化。「菊川トルティーヤ（お茶を練りこんだトルティーヤ）」が「うでまくりDINING喜楽人（西方）」で、「芽ンチキャツ（メキャベツのメンチカツ）」が「食事処 8ct -yakara-t（本所）」で販売されました。また、市の特産品である芽キャベツを使用した「コココロホイコーロー」や「たれ芽ンチキャツ」が、市内小中学校や幼稚園などに学校給食として提供されました。	
5	長野県小谷村から3年ぶりに雪のプレゼント「六郷ふれあい雪まつり」【2月】	2月4日、菊川市と長年交流のある長野県小谷村から六郷地区センターに雪のプレゼントが届きました。会場には雪を使ったすべり台や雪遊びができる広場が設置され、子どもたちは、普段見ることのない雪に目を輝かせながら楽しんでいました。また、雪中キャベツやおやきなどの小谷村特産品販売やゲーム大会も行われ、多くの地域住民で賑わいました。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
6	潮海寺仁王像が菊川市有形文化財に指定【2月】	江戸時代に制作された仁王像としては、市内に現存する唯一のもので、2月20日に市内19番目の菊川市指定文化財となりました。既に指定を受けている「潮海寺仁王門」の中に納められていて、大きく強調された頭部と鋭い眼光が特徴的です。	
7	代官屋敷梅まつりに合わせ「長屋門フェスタ2023」「代官屋敷竹あかり展」開催【2月】	2月5日、地元の平川地区コミュニティ協議会や平川地区自治会が中心となり、代官屋敷梅まつりの初日に「長屋門フェスタ2023」が3年ぶりに盛大に開催されました。黒田家住宅長屋門前の特設ステージでは、ミニ茶娘による茶ごちゃん音頭の披露や市民グループによるバンド演奏、よさこい踊りなどの芸能アトラクションが行われました。また、2月23日から25日まで、「代官屋敷竹あかり展」が開催。市民活動団体たねあかりが制作した大小およそ400本の竹灯籠が並べられ、江戸時代の面影を残す長屋門や母屋、庭園が幻想的に照らし出されました。	
8	春のスポーツ全国大会で市内小中高生が活躍【3月】	石山心優さん（菊川西中ソフトボール部）「第19回都道府県対抗全日本中学生女子大会」県代表選手として出場・優勝、稲葉愛珠さん（菊川MOS T）「第22回全国小学生ソフトテニス大会」出場、稲垣蒼海さん・横山暖歩さん・横山桜音乃さん・山内星空さん・岩瀬真衣さん（掛川桔梗女子ソフト）「第16回春季全日本小学生女子ソフトボール大会」2年ぶり2回目の優勝、川田姫万梨さん・山崎優月さん（池新田高校 剣道部）「第32回全国高等学校剣道選抜大会」出場、常葉大学附属菊川中学・高校空手道部「第17回全国中学生空手道選抜大会」「第42回全国高等学校空手道選抜大会」中・高そろって、男女ともに全国大会出場。	
9	菊川市の農産物が居酒屋で全国デビュー！菊川市×塚田農場コラボ企画【3月】	地鶏居酒屋チェーン「塚田農場」で3月9日から、菊川市農産物を使用した「春のおすすめメニュー」13品が、全国75店舗で提供されました。塚田農場を運営する株式会社イー・ピーホールディングス（本社：東京都豊島区）が、知られざる食や食材・地域のブランディングを目的に始動した「全国のおいしいもの発掘プロジェクト」の記念すべき第1弾、初の自治体コラボレーション相手として菊川市が選ばれ、今回の企画が実現しました。菊川市をもっと身近に感じていただくためのコラボキャンペーンも実施。菊川市の魅力を全国の皆さんにお届けしました。	
10	上倉沢の棚田「千框」でキャンプイベント【3月】	3月11日から12日にかけて、NPO法人せんがまち棚田倶楽部と地域おこし協力隊が協働して初開催。市内外から参加した7組24人の参加者が、田植え前の田んぼの中にテントを張り、思い思いの時間を過ごして楽しみました。日中は火起こし体験や焼きマシュマロの試食会、竹のコップづくりなどの体験が行われ、親子連れで大賑わいでした。また、茶草場農法で育ったお茶と棚田のお米を使ってほうじ茶や玄米茶を焙煎する体験も行われ、参加者は「せんがまち」ならではの味わいを味わいました。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
11	絵本の世界をプロジェクションマッピングで表現【3月】	3月17日、赤レンガ倉庫の壁面に掛川工業高校の小澤陸空さんが制作したプロジェクションマッピングが投影され、多くの人を楽しませました。作品は、菊川市出身の大村勇貴さんが制作した絵本「どっくんどっくん」を題材にしており、特徴的な擬音には声があてられたほか、映像に合わせて太鼓や木琴を使った効果音も生演奏で付けられ、作品の世界観を見事に表現しました。赤レンガ倉庫の中では、どっくんどっくんの原画も展示され、訪れた人が、丁寧に描かれた作品をじっくりと鑑賞しました。	
12	地域おこし協力隊の大山智世さんが退任【3月】	令和3年6月から地域おこし協力隊として活動してきた大山智世さんが、令和5年3月末で退任しました。任期中は、火剣山キャンプ場でアウトドアイベントの開催や、静鉄グループとの連携事業の実施など、大山さんならではの視点でさまざまな活動を企画。菊川市の魅力を多くの人に届けてくれました。3月20日には活動成果を市長に報告、23日には活動報告会が開催され、多くの参加者が大山さんに労いと感謝の気持ちを伝えました。	
13	菊川まちづくり部プロジェクト始動【3月】	菊川市内で若者が住みたいまちづくりを考える「菊川まちづくり部」の活動が始動しました。高校生や大学生、若手社会人までのメンバーが定期的に集い、若者視点で住みたいまちを自分たちでつくるための活動を展開。今年度は、駅前活性化や観光、自然、交流の4つをテーマに各班が活動しています。	
14	常葉大学附属菊川高校野球部が春のセンバツ出場【3月】	常葉大菊川高校野球部が第95回記念選抜高校野球大会に出場しました。センバツへの出場は、10年ぶり5回目。3月22日に千葉県の特長松戸と対戦しました。初回に3点を失うも、その後は堅実な守備で試合を運びました。あと一歩及ばず、惜しくも敗れましたが、甲子園球場という大舞台で全力のプレーを見せてくれました。	
15	生まれ変わる菊川駅の工事がスタート【3月】	JR菊川駅の南北自由通路整備の第1段階として、令和5年3月に現在の駅舎西側に仮駅舎を建設するための工事がスタートしました。令和5年12月下旬から令和7年度末の新駅舎の利用開始まで仮駅舎を利用いただくこととなります。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
16	戸塚千暖さんと沢崎那月乃さんが全国最年少で秘書検定3級に合格【3月】	学習塾「希動学園」に通う堀之内小の戸塚千暖さんと沢崎那月乃さんが、小学4年生で秘書検定3級合格という快挙を成し遂げました。3月30日には、検定に挑戦した経緯や合格の喜びを長谷川市長に報告しました。また、秘書になる夢を持つ戸塚さんが市長の秘書体験をしたいと希望したことから、8月21日には長谷川市長の秘書業務を体験。市長の日程調整や来客対応など、大人顔負けの意欲と真剣さで業務をこなしてくれました。	
17	『深蒸し菊川茶』が地理的表示（GI）保護制度登録【3月】	3月31日、『深蒸し菊川茶』が農林水産省から「地理的表示（GI）保護制度」の認定登録を受けました。 静岡県内では「三島馬鈴薯」「田子の浦しらす」「西浦みかん寿太郎」に続き4件目の登録となり、お茶の登録は県内初。認定登録を大きな契機と捉え『深蒸し菊川茶』が国内外に広く認知されるよう、ブランド力を高めるとともに、更なる販路拡大や消費拡大に取り組んでいます。	
18	出張健康相談事業「茶ちゃっと！出張健康チェック」スタート【4月】	令和5年4月から、保健師・栄養士が市内各所へ出張し、無料で健康チェックや健康相談を行う「茶ちゃっと！出張健康チェック」がスタートしました。菊川市マスコットキャラクター「きくのん」が施されたラッピング車両「出張!!健康相談号」や、健康チェックに用いる各種計測機器は、企業版ふるさと納税制度により(株)南山堂様からいただいた寄附金で購入。市内公共施設やイベント、企業等に出向き、各種計測機器で簡易健康チェックを行っています。	
19	菊川駅整備寄附金募集「KIFUGAWA PROJECT」始動【4月】	菊川市への愛着心を高めること、市の財政負担を軽減するため、南北自由通路整備事業に寄附金を募るプロジェクトを始動しました。一般寄附と企業版ふるさと納税で個人3万円以上、法人10万円以上寄附していただいた場合、お名前を刻んだ芳名版を駅舎南側外壁に設置。10月から1月にかけては、ガバメントクラウドファンディングによる寄附の募集も行っています。	
20	「東遠州スマイルアッププロジェクト」スタート【4月】	磐田市、袋井市、掛川市、菊川市、森町が連携し、4市1町に所在する幼稚園、認可保育所、認定こども園、地域型保育事業でリーダー的役割を担う職員を対象に、国のガイドラインに基づいた「保育士等キャリアアップ研修」をスタートしました。広域で連携し、保育士等一人ひとりの専門性を高め、保育の質の向上と処遇改善を図るための取組を進めています。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
21	郷土の偉人 植物学者橋本梧郎さん特別展示【5月】	4月から9月までNHKで放送された連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルが植物学者の牧野富太郎であったことから、菊川市生まれの植物学者で名誉市民の橋本梧郎(はしもとごろう)氏の資料を、小笠図書館と菊川文庫で巡回展示しました。橋本梧郎氏は、若くして単身ブラジルに渡り研究を続け、ブラジルで採取した標本は15万点。ブラジルの牧野富太郎と呼ぶ人もいたそうです。	
22	「深蒸し菊川茶」を全国へ！大相撲五月場所で懸賞旗を掲出【5月】	大相撲五月場所の幕内取組に“深蒸し菊川茶”の懸賞幕を掲げ、郷土力士である「翠富士」の応援とともに菊川茶を全国にPRしました。場内放送でも「@G I登録深蒸し菊川茶発祥 静岡県菊川市」の読み上げが行われました。	
23	菊川市がジュビロ磐田のホームタウンに【5月】	Jリーグのジュビロ磐田からお声掛けをいただき、県西部6市1町がホームタウンへ加入。これまでも開催してきた子どもたちとの交流イベント等に加え、公式戦への市民招待の拡大など、スポーツを通じたまちづくりにジュビロ磐田と一緒に取り組むこととなりました。	
24	4年ぶりに開催！第18回菊川市内高等学校野球大会【5月】	5月27日、菊川ライオンズクラブが主催し、菊川運動公園野球場で4年ぶりに開催。市内にある小笠高校と常葉大菊川高校の野球部が白熱した試合を繰り広げました。試合は延長戦の末、小笠高校が10-7で勝利。スタンドに訪れた多くの市民や高校野球ファンが、地元の選手の活躍に声援を送りました。また、最優秀選手賞には小笠高校の松川巧選手（3年生）が、優秀選手賞には常葉大菊川の内山拓海選手（3年生）がそれぞれ選ばれました。	
25	家康公ゆかりの地 獅子ヶ鼻で「おひざもと市」を開催【6月】	6月3日、10日、17日の3日間、市内の徳川家康公ゆかりの地「獅子ヶ鼻」のPRを目的に、岩すぐ下の蓮池公園・小菊荘で「おひざもと市」が開催されました。お菓子や雑貨などの店舗が出店したほか、「劇団静岡県史」によるチャンバラパフォーマンスや「東海書道会 琳明書道教室」の書道パフォーマンスが会場を盛り上げました。また、小菊荘のロビーでは、家康公ゆかりの地や市内出身の画家杉山義雄画伯が描いた家康公ゆかりの地の絵画のパネルも展示されました。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
26	「男女共同参画週間」キャッチフレーズ 戸塚俊作さんの作品が最優秀作品賞【6月】	内閣府男女共同参画局では、6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」と定め、週間を広く周知するために、キャッチフレーズを募集しています。令和5年度は、応募総数4,326点の中から審査の結果、菊川市在住の戸塚俊作さん（高校3年生）の作品「無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。」が最優秀作品賞に選ばれました。このキャッチフレーズは、男女共同参画週間を周知するためのポスターに掲載され、全国的に周知されました。	
27	小笠高校福祉系の生徒が企画・運営「イーちゃんの白い杖」上映会【6月】	6月24日、障がいを抱えながらもお互いに支え合って生きる家族の姿を描いたドキュメント映画「イーちゃんの白い杖」の上映会が文化会館アエルで開催されました。小笠高校で福祉について学んでいる3年生7人が企画。チラシ配布等の広報活動や会場準備、司会進行等も行いました。制作元であるテレビ静岡の協力により、映画の主人公であるイーちゃん家族も来場。最後に映画の主題歌「I-あい-」をシンガーソングライターの川口カズヒロさんが弾き語りで熱唱し、上映会は大盛況のうちに終わりました。	
28	さわやか菊川本店リニューアルオープン【7月】	46年前に菊川市で1号店が開店した日と同じ7月5日、さわやか菊川本店がリニューアルオープンしました。市内や県内だけでなく、関西や北関東などからも集まった大勢の人が見守る中、華々しくテープカットで開店しました。きくのんによるお出迎えや深蒸し菊川茶ペットボトルのプレゼントなどもあり、地域と一体となったセレモニーが行われました。	
29	田んぼアート菊川2023「大鑑賞会」【7月】	色の異なる稲を図柄に合わせて植えることで、水田にアートを浮かび上がらせる田んぼアート。今年の図柄は徳川家康公と家康公が好んだ縁起物です。7月9日には大鑑賞会が開催され、来場者はおおよそ7メートルの高さのやぐらから壮大なアートを鑑賞。特設のトラックステージでは楽器演奏も行われ会場は賑わいました。	
30	菊川市防災対策強靱化事業に着手【7月】	市役所本庁舎敷地一体の防災体制の強靱化に向け、7月20日から老朽化した市役所北館の解体工事に着手しました。大型重機を使い、建物の躯体（コンクリートの柱や梁）を取り壊しました。皆さんに親しまれた北館が姿を消し、さみしさも残りますが、市役所敷地一帯の強靱化を図るため事業を円滑に進めていきます。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
31	市内の茶生産者が全国規模の品評会で入賞【7月・8月】	7月27日・28日に埼玉県茶業研究所で「第50回関東ブロック茶の共進会」が開かれ、西方茶農業協同組合が荒茶（深蒸し煎茶）の部で金賞を受賞しました。また、8月1日から3日まで静岡茶市場で開かれた「第58回静岡県茶品評会」では、赤土原茶農業協同組合が深蒸し煎茶の部で1等2席を受賞しました。さらには、8月22日から25日の4日間にわたり福岡県八女市のJA全農ふくれん茶取引センターで「第77回全国茶品評会出品茶審査会」が開かれ、小沢原茶農業協同組合が「深蒸し煎茶」の部において、1等3席「公益社団法人日本茶業中央会会長賞」に輝き、上位入賞を果たしました。おめでとうございます！	
32	自然豊かな菊川を自転車で巡るレンタサイクル事業がスタート【8月】	菊川市内に点在する観光スポット等への移動手段として、電動アシスト自転車が借りられるレンタサイクル事業を8月11日から始めました。JR菊川駅前と菊川市営保養センター「小菊荘」の2か所で、2024年2月まで無料で利用でき、市内の店舗や施設で試食や体験・利用が割引されるクーポンもプレゼントしています。	
33	商工会夏まつり「夜市」開催【8月】	8月11日、文化会館アエルで初開催され、およそ1万人の来場者で賑いました。会場にはかき氷や射的といった夏の定番屋台のほか、近隣各地の名産品などのおいしいグルメの屋台などおよそ50軒が立ち並びました。また、大ホールではステージ発表が行われ、華麗なダンスや演舞に大きな拍手が送られました。フィナーレには花火が打ち上げられ、菊川の夜空を盛大に彩りました。	
34	夏のスポーツ全国大会で市内小中高生が活躍【6月～8月】	山下叶夢さん・中川一優さん（菊川スポチャッククラブ）「第45回全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会」出場、高塚遥翔さん（掛川スイミングスクール）「とびうお杯 第38回全国少年少女水泳競技大会」出場、横山暖歩さん・山内星空さん・稲垣蒼海さん・横山桜音乃さん（掛川桔梗女子ソフトボール）「第37回全日本小学生女子ソフトボール大会」準優勝、服部蓮斗さん（岳洋中陸上競技部）「第50回全日本中学校陸上競技選手権大会」出場、松村政宗さん（菊川東中陸上競技部）「第45回東海中学校総合体育大会陸上競技大会」出場、菊川西中野球部「第45回東海中学校総合体育大会軟式野球大会」出場、菊川西中女子ソフトテニス部「第45回東海中学校総合体育大会ソフトテニス大会」出場、松永伊織さん（常葉大菊川高校空手道部）「2023全日本高校生空手道選手権大会」優勝	
35	「手話言語国際デー」にあわせてブラザげやきブルーライトアップ【9月】	9月23日、「手話言語の国際デー」にあわせてブラザげやきを青色の光でライトアップする取り組みが、身体障害者福祉会ろうあ部、たねあかり、手話サークルの皆さんが協力し、初開催されました。ブラザげやき正面玄関が青色にライトアップされ、市民団体たねあかりの竹灯籠も飾られ、ブラザげやきが鮮やかな光で飾られました。屋内では「ミニ手話教室」「手話しりとり」「手話かるた」の体験が行われ、参加者は楽しみながら手話に親しみました。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
36	野菜マシマシプロジェクト「ホットサラダ店」期間限定オープン【9月】	静岡県が実施している野菜摂取量増加の取り組み『野菜マシマシプロジェクト』。この事業に「味の素㈱」がコラボし、市内の農家「ななしょうてん」のファーム内に「ホットサラダ専門店」が期間限定でオープンしました。期間中には、「レタス類の種まきと定植体験」イベントも行われ、多くの来場者で賑わいました。	
37	ひとに優しいまち きくがわで「茶畑の中心で愛を叫ぶ」開催【10月】	10月1日、菊川中央公園で大切な人へ想いを伝える「菊川チャバチュー」を開催。高い青空と清々しい緑の茶畑に囲まれて、市内高校生や手話サークル、外国人住民、夫婦などたくさんの方々が、心の中にある感謝の気持ちや大好きな思いを大きな声で叫びました。また、「おもてなしゾーン」では市内団体のステージ披露やブラジル料理の販売、菊川茶娘からの呈茶サービスなどのブースが設置され、訪れた人は菊川の魅力を体験しました。	
38	4年ぶりの歓喜の掛け声！市内各地で秋の祭典開催【10月】	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止が続いてきた秋の祭典。今年は多くの自治会が4年ぶりに例年通り開催しました。小笠地域では10月7日と8日、菊川地域では10月14日と15日、牧之原地域では10月28日と29日に開催。市内のあちこちで、子どもから大人までが一緒になり、お囃子しと威勢の良い掛け声とともに、花飾りやちょうちんなどで飾られた屋台を引き回し、町内安全や五穀豊穡を祈願しました。	
39	市職員が株式会社たご満の店舗で接客実習【10月】	市では「行政は最大のサービス業」との認識のもと、職員の接遇力の向上に取り組んでいます。次年度接遇トレーナーとなる採用2年目の職員が気持ちの良い接客で評判の良い同社の店舗で現場実習を行い、「笑顔でのあいさつ」や「気持ちの良い接客」を学びました。研修は11月20日まで週に数回行われ、22人の若手職員が研修に参加しました。	
40	世界農業遺産「静岡の茶草場農法」認定10周年イベント【10月】	今年度、世界農業遺産認定10周年を迎えた「静岡の茶草場農法」において、10月20日に記念式典が開催されました。また10月21日には、菊川市と牧之原市が合同で両市の茶の魅力を伝えるバスツアーを実施し、茶工場見学や、茶草場体験などにより茶草場のPRを行いました。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
41	市内各地区で「地区センター祭り」が開催【11月】	11月3日から26日にかけて、市内の10地区で「地区センターまつり」が開催されました。地域で活動している人たちの作品展示や、ステージ発表のほか、模擬店や体験コーナーなども設置され、住民同士の交流を深めました。	
42	常葉大学附属菊川高校の鈴木叶捕手がドラフト指名【10月】	2023年プロ野球ドラフト会議で、常葉大学附属菊川高校3年の鈴木叶（きょう）捕手が東京ヤクルトスワローズから4位指名を受けました。鈴木捕手は、「神宮のファンに愛される存在になりたいです。ヤクルトにはいい選手が大勢いるので、良いところをたくさん吸収して自分のものにしていきたいです」と抱負を語りました。プロの世界で活躍する姿が今から楽しみです。	
43	「きくがわ灯りの散歩道ONハロウィーン」が開催【10月】	10月28日、きくる広場と赤レンガ倉庫付近で、市内NPOや企業、学校などが協働して開催。大勢の人が来場し、一足早いハロウィーンの夜を楽しみました。会場には、市民活動団体たねあかりが市内の高校生や外国人学校の生徒などと作成した、およそ500本の大小さまざまな竹灯籠が飾られ、訪れた人たちが幻想的な空間を散策したり写真を撮ったりして楽しみました。赤レンガ倉庫前ではライブ演奏や大道芸のパフォーマンス、お菓子の配布も行われ、多くの人で賑わいました。	
44	おいしい肉の日in菊川「畜産フェア」開催【10月】	10月29日、おがさセントラルパークで開催。会場には県内畜産農家やJA遠州夢咲、静岡県や菊川市内特産品等販売店などによる26のブースが設けられ、イベント開始早々市内外からたくさんの方が訪れていました。訪れた人は牛肉や豚肉、卵や市内の特産品などの買い物をしたり、その場で食べて味わったりと楽しんでいました。	
45	「Trick or Trash Kikugawa 2023」市職員が仮装してごみ拾い【10月】	10月31日、市役所本庁舎周辺で、仮装をした市職員の有志20人がごみ拾いを行いました。ハロウィーンイベントとごみ拾いを組み合わせることで、楽しくごみ拾いを行いまちの環境美化につなげるのが目的。仮装をした職員は、通勤・通学中の人に挨拶をし楽しみながら、タバコの吸い殻やマスクなどおよそ3kgのごみを拾いました。	

令和5年 菊川市の主な出来事

No.	出来事	内容	
46	「令和5年度菊川市表彰式」を挙行【11月】	さまざまな分野で長年にわたり活躍し、菊川市の公益に寄与し、市行政の進展に特に功績があった個人や団体を表彰する「菊川市表彰式」を11月1日に挙行了。今年は、太田原浩氏、宮城也寸志氏、三浦寛氏、井手暢子氏、落合益尚氏、株式会社南山堂、日東工業株式会社、フジオゼックス株式会社、株式会社若杉組の5名と4団体の功績をたたえ表彰しました。	
47	菊川市が「街の幸福度ランキング（静岡県版）」第3位にランクイン【11月】	大東建託株式会社が発表した「いい部屋ネット 街の幸福度＆住み続けたい街ランキング2023（静岡県版）」において、菊川市が「街の幸福度ランキング」第3位に選ばれました。これからも「住んでよかった、住み続けたい」と思われるまちづくりを皆さんとともに進めていきます。	
48	静岡ブルーレヴズがきくがわ応援大使に就任【11月】	静岡ブルーレヴズと市は、昨年パートナー協定を締結し、様々な連携事業を行っています。連携をより一層深めるため、同クラブが「きくがわ応援大使」に就任しました。チームを代表して2名の選手へ、きくのんから任命状とオリジナル名刺が手渡されました。菊川市と静岡ブルーレヴズを応援する人の「わ」が大きく広がるよう、相互の応援関係を築き、今後も一緒に協力して取り組んでいきます。	
49	わかもののもちサミット2023が菊川市で開催！「菊川市子ども・わかもの参画宣言」発表【11月】	11月19日、NPO法人わかもののもちと市民協働センターが協働で「わかもののもちサミット2023」が開催されました。全国で子ども若者の支援に携わっている団体や行政、当事者である学生など200人以上が参加。全体会や分科会を通して、若者の主体的な活動や、若者支援について活発な意見交換が行われました。また、サミットのクロージングセッションにおいて、子どもや若者のまちづくりへの参画などについて、地域・NPO・学校・企業・行政等が協働しながら、市全体で取り組んでいく姿勢を明確にするため、全国初となる「菊川市子ども・わかもの参画宣言」を行いました。	
50	ひと・まち・くらしの元気が大集合「菊川産業祭2023」が開催【11月】	11月19日、文化会館アエルで菊川産業祭2023が開催されました。訪れたおよそ2万5000人が、活気ある出展や迫力のあるステージなど、もりだくさんのイベントを食べて・見て・遊んで楽しみました。出展ブースには、およそ70の企業や団体が大集合。ステージでは、17の団体が迫力あるステージを披露。特設ステージとして、2組の市出身お笑い芸人が登場するなど、秋晴れの空の下、会場に多くの笑顔があふれました。また、今年もJR東海が三島駅からの臨時快速列車を運行し、菊川駅発着の「さわやかウォーキング」も同日開催されるなど、多くの来場者で賑わいました。	